



福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

PRESS RELEASE

報道関係各位

2019年5月吉日
福田美術館

2019年10月、京都嵐山に「福田美術館」開館。

2019年10月、京都屈指の観光地である嵯峨嵐山に、新名所「福田美術館」が開館します。

「100年続く美術館」をめざす。

福田美術館は、「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋がる美術館を目指します。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてまいりました。これまで支えていただいた地元の方々のご支援、そして京都という土地に対して、恩返しをしたいという熱い思いから、当美術館を設立する運びとなりました。



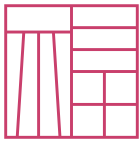
美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として。

福田美術館の建つ場所は、古来より多くの貴族や文化人に愛され、芸術家たちがすぐれた作品を生み出す源泉となった嵯峨嵐山。今や日本国内だけでなく世界中から人々が訪れる観光地となっています。

この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しんでいただくことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願います。



嵐山 渡月橋のほど近くに建つ福田美術館

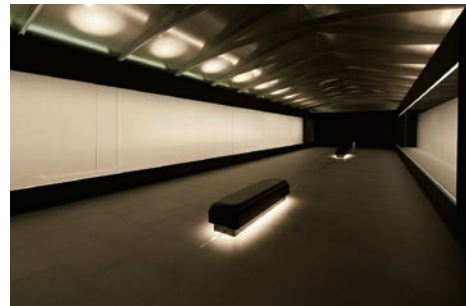


■建物について

嵐山にふさわしい、未来に向けた日本建築の形。



嵐山を映し出す「水鏡」となる大きな水盤



「蔵」をイメージした展示室

福田美術館の建築は、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これからの100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を志向しています。洗練された和モダンの外観デザインは、周辺の自然に違和感なく溶け込んでおり、また内観にも「蔵」をイメージした展示室、「縁側」のような廊下、「網代文様」から着想された壁面ガラスなど、随所に日本的な意匠が見られます。庭には大きな水盤があり、目前を流れる大堰川・桂川に連なる水鏡のごとく、嵐山を映し出します。

また美術館内には、この地のシンボルである渡月橋をもっとも美しく一望できるカフェが設けられました。



「網代文様」をもとにデザインされた美しい外壁ガラス



「渡月橋」が最も美しく見えるカフェ



「縁側」のような廊下



92%という高透過率に加え、継ぎ目がほとんどないガラスケース

展示室内のガラスケースは、世界最高の技術を持つことで知られるドイツのグラスバウハーン社に特注。92%という高透過率に加え継ぎ目の少ない大きなガラスは、世界中でも他に類を見ません。また、ケースの奥行きは30cm～1mまでの可動式。まるで高精細映像を見るかのように、画家たちの筆致を間近でご覧いただけます。

光に弱い日本画のため抑えられたライティングは、世界最先端の照明システムによって、日本画を鑑賞するのに理想的とされる光を実現。障子越しに照らされるような、ほの明るく趣きのある空間の中で作品と接していただけます。

設計／安田幸一（安田アトリエ主宰）
建築家・東京工業大学大学院教授・博士（学術）

日建設計時代の代表作品として、警視庁丸の内警察署桜田門警備派出所、その他、新江ノ島水族館などの水族館建築や、日本建築学会賞や村野藤吾賞を受賞したポーラ美術館がある。





■コレクションについて

錚々たる有名画家の作品、幻のコレクション。誰もが感動するラインアップ。

福田美術館は、江戸時代から近代にかけての、主要な日本画家の作品で構成されるコレクション約1,500点を有しております。「たとえ美術に詳しくない方が見ても、感動を与えられるような」作品がコンセプト。中でも、京都画壇の作品には特に力を入れています。琳派、円山四条派から京都画壇への流れを押さえたラインアップは、円山応挙、与謝蕪村、伊藤若冲ら江戸時代の絵師たちの作品をはじめ、横山大観、上村松園、竹内栖鳳などの近代の名画、さらに国内有数の竹久夢二コレクションという豪華さ。それらの中には、注目すべき初公開のものや、幻の作品が多数含まれます。



作品左より、与謝蕪村「猛虎飛瀑図」、伊藤若冲「柳に鶏図」、竹久夢二「切支丹波天連渡来之図」、竹内栖鳳「金獅図」、上村松園「長夜」、速水御舟「露潤」

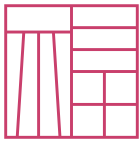
オープンを記念して秘蔵の作品を多数、初公開。

2019年10月1日(火)～2020年1月13日(月・祝)に、開館記念展を開催予定。会期を前後期に分け、完全入替で福田コレクションの中から約120点の作品を展示いたします。狩野探幽の「雲龍図」など、本邦初公開のものも!ぜひご期待ください。

福田美術館開館記念展(仮) 2019年10月1日(火)～2020年1月13日(月・祝)



作品左より、俵屋宗達「益田家本 伊勢物語図」、葛飾北斎「大天狗」、円山応挙「巖頭飛雁図」、速水御舟「春眠」



■美術館概要

- 福田美術館 FUKUDA ART MUSEUM SAGA ARASHIYAMA
- 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 敷地面積 1982㎡
- 延床面積 1193.58㎡
 - ・展示室1 151.2㎡
 - ・展示室2 175.4㎡
 - ・展示室3 64.5㎡
- 交通アクセス
 - ・JR山陰本線(嵯峨野線)「嵯峨嵐山駅」下車、徒歩12分
 - ・阪急嵐山線「嵐山駅」下車、徒歩11分
 - ・嵐電(京福電鉄)「嵐山駅」下車、徒歩4分

運営:合同会社AYG(京都市右京区西院東貝川町31番地 西院ビル8階)

館長:川畑 光佐



■近隣エリアについて

福田美術館とホテルを核に、洗練された未来の嵐山を目指すエリア開発。

福田美術館と、隣地に建設中のラグジュアリーホテル(2020年オープン)。訪れるすべての方に嵐山の本物の価値や、一生心にのこる美しさを感じていただける場所とするため、この2つの施設を核に、「未来100年続く、他にない嵐山エリア」を開発していきます。

両館に加え、このエリアを構成するのは、2018年11月に先行してリニューアルオープンした嵯峨嵐山文華館(旧 百人一首殿堂時雨殿)。百人一首をはじめとする伝統文化の魅力を発信してまいります。他にも、藁葺き屋根の古民家を改装したカフェなどを予定しており、エリア全体の価値を高める魅力的な開発を進めております。



■報道関係の問い合わせ

「福田美術館」広報事務局(ウイングダム内) 担当:沼澤、多田

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833 Email fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F「福田美術館」広報事務局

